

日 程 表 (第1日目 11月17日(木))

時間	第1会場：盛岡市民文化ホール 2F 大ホール		座長
8:55	開会の辞		
9:00	A-1	膵管癌の悪性度を規定する特徴的病理像に係る分子病理基盤の解析 眞杉 洋平(慶應義塾大学医学部病理診断部)	古川 徹 (東北大学)
9:40	A-2	肝疾患に関する病理学的研究: 肝臓の内皮細胞が病態に及ぼす影響の解明 近藤礼一郎(久留米大学医学部病理学講座)	坂元 享宇 (慶應義塾大学)
10:20	A-3	膠芽腫の分子病態 ー代謝が規定するがん細胞の phenotype ー 増井 憲太(東京女子医科大学病理学講座 (人体病理学・病態神経科学分野))	柴原 純二 (杏林大学)
11:00	A-4	健康寿命延伸における脂肪細胞のミトコンドリアの量と質の制御 樋上 賀一(東京理科大学薬学部生命創薬科学科分子病理・代謝学研究室 東京理科大学生命医科学研究所生体運命制御部門)	金井 弥栄 (慶應義塾大学)
11:40	B-1	子宮頸部腺癌の胃型、腸型、ミューラー管型の細胞系列分類に基づいた 臨床病理学的解析 浅香 志穂(信州大学医学部附属病院臨床検査部・病理診断科)	森谷 卓也 (川崎医科大学)
12:20	ランチオンセミナー 1 会場：アイーナ 7F 小田島組☆ほ～る 婦人科腫瘍に関連するバイオマーカーの新たな展開 柳井 広之(岡山大学病院) 座長：三上 芳喜(熊本大学病院) 共催：MSD 株式会社	ランチオンセミナー 2 会場：アイーナ 8F 804 どうする？肺がんコンパニオン診断～病理医の役割～ 南 優子(茨城東病院) 座長：二口 充(山形大学) 共催： ノバルティスファーマ株式会社/ サーモフィッシュャーサイエンティフィック	ランチオンセミナー 3 会場：アイーナ 8F 803 悪性中皮腫の形態診断のピットホールと石綿新法による患者認定 岡 輝明(複十字病院) 座長：黒瀬 顕(弘前大学) 共催：独立行政法人環境再生保全機構
13:20	社員総会		
14:40	特別講演 SL 平泉の文化遺産を考える 佐藤 嘉広(岩手大学平泉文化研究センター)	佐藤 孝 (岩手医科大学)	
15:40	シンポジウム 1 「Evidence-Based Pathology (EBP) の導入による新しい病理診断学の構築」 SY1-1 新しい病理学の構築にはどのようなエビデンスが必要か？ 小嶋 基寛(国立がん研究センター・先端医療開発センター) SY1-2 組織像の構造化による病理組織学のデータサイエンス化 石川 俊平(東京大学/国立がん研究センター先端医療開発センター) SY1-3 肺がんの進展に寄与するがん微小環境の解明に向けた 空間トランスクリプトーム解析の実践 鈴木 絢子(東京大学) SY1-4 大腸癌における新しい病理学的治療指標を確立するための学際的取り組み 上野 秀樹(防衛医科大学校) SY1-5 形態情報に客観性を付与する方法：乳癌診療における免疫組織化学 増田しのぶ(日本大学) SY1-6 Evidence-Based Pathology の構築は可能なのか？ 都築 豊徳(愛知医科大学)		菅井 有 (岩手医科大学) 落合 淳志 (東京理科大学)
2単位			
18:20	インターナショナルポスターセッション/ポスターセッション 国際発表表彰式	会場：アイーナ 5F ギャラリーアイーナ	

単位：領域講習 指定単位分の受講証を配布いたします。

日 程 表 (第2日目 11月18日(金))

時間	第1会場：盛岡市民文化ホール 2F 大ホール		座長
9:00	A-5 遺伝性てんかんラット (IER) の原因遺伝子の同定並びに てんかん焦点形成機序解明と、今後のヒト治療研究への道 早瀬ヨネ子 (公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院 病理科・臨床検査科)		小田 義直 (九州大学)
9:40	A-6 中枢神経系腫瘍のゲノム・エピゲノム研究と病理診断への応用 里見 介史 (杏林大学医学部病理学教室)		田中 伸哉 (北海道大学)
10:20	A-7 ヒト腫瘍発症及び悪性進展における転写共役型DNA傷害の病理学的意義 -非遺伝性散発性乳癌の解析からの知見- 桑原 一彦 (近畿大学病院・病理診断科)		森井 英一 (大阪大学)
11:00	A-8 Transcriptome解析による胃がんオルガノイドを用いた 薬剤耐性関連分子の研究 坂本 直也 (国立がん研究センター先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野)		菅井 有 (岩手医科大学)
11:40	B-2 胸腺上皮性腫瘍における皮質上皮・髄質上皮マーカーの発現に関する検討 山田 洋介 (京都大学医学部附属病院病理診断科)		松野 吉宏 (北海道大学病院)
12:20	ランチョンセミナー 4 会場：アイーナ 7F 小田島組☆ほ～る EGFR 遺伝子変異陽性肺がんの最新の治療戦略 鈴木 弘行 (福島県立医科大学) 外科材料を用いたバイオマーカー検査：精度向上を目指した取り組みと今後病理医に求められること 吉澤 明彦 (京都大学) 座長：鈴木 弘行 (福島県立医科大学) 共催：アストラゼネカ株式会社	ランチョンセミナー 5 会場：アイーナ 8F 804 遺伝子検査・病理検査に基づく肺癌治療の進歩 ～治療効果予測因子 TTF-1 を含む～ 前門戸 任 (岩手医科大学) 座長：柳川 直樹 (岩手医科大学) 共催：中外製薬株式会社	ランチョンセミナー 6 会場：アイーナ 8F 803 病理デジタル化と院内ゲノム検査のコラボが成し遂げる次世代ゲノム病理診断システムの構築 西原 広史 (慶應義塾大学) 座長：味岡 洋一 (新潟大学) 共催：フィンガルリンク株式会社
13:20	表彰式		
13:40	シンポジウム 2 「トランスレーショナルリサーチにおける病理学の役割 –現状と次世代にむけた取り組みについて–」 SY2-1 生体内リプログラミング技術による病態解明と革新的医療の開発 山田 泰広 (東京大学) SY2-2 次世代がん免疫療法に向けた免疫病理学研究 鳥越 俊彦 (札幌医科大学) SY2-3 病理組織学から展開するがん標的医学研究 近藤 英作 (新潟大学) SY2-4 Spred2：炎症と癌の制御に関わるシグナルコンダクター 松川 昭博 (岡山大学) SY2-5 環境因子が誘導する胃癌のエピゲノム特性と医療戦略 金田 篤志 (千葉大学) SY2-6 MSI-H 大腸がんにおける免疫逃避能獲得にむけたゲノム進化機構の解明 三森 功士 (九州大学病院)		安井 弥 (アルパーク 検診クリニック) 竹内 賢吾 (がん研究会 がん研究所)
2単位			
16:00	病理診断特別講演 1 SLPD1 乳癌の予後予測、治療適応決定の病理診断 –特に病理学的グレード分類と“臨床的”サブタイプ分類について 津田 均 (防衛医科大学校病態病理学)		鈴木 貴 (東北大学)
1単位			

17:00 1単位	病理診断特別講演2 SLPD2 女性生殖器腫瘍における腺癌の考察：組織型に拘ることの意味を考える 安田 政実(埼玉医科大学国際医療センター病理診断科)	三上 芳喜 (熊本大学病院)
18:00	閉会の辞	
18:20	コンパニオンミーティング1 (日本肺病理学会) 会場：アイーナ 7F 小田島組☆ほ～る 嚢胞性肺疾患の病理—Birt-Hogg-Dubé 症候群を中心に— 中谷 行雄(横須賀共済病院) アレルギー性内因性感染症としてのサルコイドーシス 病因論 江石 義信(東京医科歯科大学) 座長：石川 雄一(国際医療福祉大学) 谷野美智枝(旭川医科大学)	コンパニオンミーティング2 (第13回妊産婦死亡症例病理カンファレンス) 会場：アイーナ 8F 804 教育講演 本邦の妊産婦死亡の現状と対策 桂木 真司(宮崎大学医学部附属病院) 症例検討 血管型エーラス・ダンロス症候群の1剖検例 島松 一秀(大牟田市立病院) 病理解剖により診断に至った妊娠オウム病の一例 佐藤由美子(岩国医療センター) オーガナイザー： 竹内 真(大阪母子医療センター) 若狭 朋子(近畿大学奈良病院) 阿萬 紫(宮崎県立宮崎病院)

単位：領域講習 指定単位分の受講証を配布いたします。

オンデマンド配信 (Web開催)	
特別講演、シンポジウム、病理診断特別講演、A 演説、B 演説などの学術講演会を総会ホームページにて配信	
配信期間：11月28日(月)正午～12月26日(月)正午	
Webセミナー 1 食道癌診断におけるPD-L1 検査と実際の判定における留意点 坂下 信悟(国立がん研究センター先端医療開発センター) 共催：アジレント・テクノロジー株式会社	Webセミナー 2 消化管腫瘍におけるPD-L1 検査の最新情報 薦 幸治(関西医科大学) 共催：小野薬品工業株式会社/ プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

※社員総会・表彰式・ポスターセッション・ランチョンセミナー・コンパニオンミーティングは現地開催のみ